

おさんぽ、たのしいな！

部屋の入り口は
2階の廊下をずっと進んだ突き当り。

その日はお天気もよかったので
少し遠くの公園まで散歩に行き
秋の虫をみつけたり
落葉の色の違いを見比べたり
1歳児の5人は十分満喫して帰園しました。
お昼までぎりぎりの時間
早く部屋に戻って用意をしなければ！
担任は少し焦りはじめました。
子どもたちはまだ1階玄関ホールに。靴を脱ぎきれていない子。
靴下をはいたままの子や水槽の前で金魚さんとお話ししている子。
この前行った遠足の写真の張りだしに兄を見つけてはしゃいでいる子。
階段室に飾った制作に触って遊び始める子も
みんなばらばら…。お部屋まで遠い道のり。
お昼時間になったけれど手も洗っていません。
保育書をひっぱりだして声掛けを工夫したり
手順をあの手この手で説明したけれど、ずっと毎日こんな調子。
悩みに悩んで、見出した答え。それは
「私が気持ちをかえてみよう！」

これまで数ある誘惑ふりすてて猪突猛進させるだけの試練の道だった
玄関から階段、そして長い廊下をぬけて部屋に至る遠い道のりを
「ここは、楽しい散歩の続きの道なんだ！」と思うことにした。
これまでじりじり見つめていただけの金魚に、一緒に声をかけてみた。
遠足の楽しい思い出の写真を指差し話しこんだ。
靴下もお部屋で脱ごう。手も戻ってから洗おう。
だってまだ散歩なんだもん♡
明らかに自分の顔があかるくなったのが分かる。
子どもも心うきうきして部屋に戻り、お昼もとても和やかに。

以上は先週、東京で開かれた研修会でうかがったある園の実践報告でした。
専門の保育士だけでなく、これ、家庭でもつかえませんか？
大人が少しものの見方を変えてみるだけで
子育てって、もっと楽しくなる?! うちでも一度やってみようっと。
(つくし保育園園長 つだかずお)

<だいで教会より>

季節の実りを神さまに感謝するサンクスギビングデー（収穫感謝礼拝）が
11月19日（日）ごご10：30、お庭のチャペルで開かれます。
引き続きお庭で「焼いも大会」も。どうぞお気軽に参加ください！